

# 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4 年 3月 29日

事業所名

ほっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員、スペースの関係は適切である。
	②	職員の配置数は適切である	○			指定基準を満たしている配置数である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			バリアフリー化し、手すりなどの設置を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日の掃除・除菌などを徹底している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングを行い支援等について話し合いを行っている。 随時、職員間で振り返りや情報共有を行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートから出た保護者の意向・意見を集計し、改善に向けて現在動いている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページを開設している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			第三者による外部評価は行っていない。 今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修に参加し、勉強の機会を確保していく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の：一ズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			送迎時、電話などで保護者と直接利用者の現状や保護者のニーズを確認し、課題の整理を行い、支援計画の作成を行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			①日常生活動作②コミュニケーション、社会性③家族支援などの3項目で支援計画を作成している。

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援会議で計画を確認しながら振り返りをし、見直しを行う。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			支援会議で計画を確認しながら振り返りをし、見直しを行う。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用者の特性に合わせてプログラムを組む。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			個別対応、集団活動を組み合わせる作成する。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援に入る職員で一日の流れや個別活動について打ち合わせを行い、情報共有をして支援している。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点はノートに記録し、共有している。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録を取り、検証・改善につなげている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い、見直している。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童相談支援事業所と定期的にモニタリングを行っている。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて関係機関と連携している。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			今のところ受け入れがない。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			今のところ受け入れがない。
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて情報共有と総合理解を図る。
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			行っている。
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			行っている。
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			必要に応じて導入予定。

	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			コロナ感染防止の為実施していない
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や日々の連絡帳などで伝え合っている。また、定期的なモニタリングの機会を活用している。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		研修などで学び、今後も行っていきたい。
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っている。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			見直しを行い、面談時に提示し説明を行い同意を得ている。
	③⑭ 定期的に、保護者力、らの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者からの相談に随時対応し、助言と支援を行っている。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会は開催していないが、必要に応じて助言や指導をしている。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情は今のところありませんが、あった場合は対応します。
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ホームページにレクリエーション予定等の情報や写真掲載等により情報を発信している。
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報に関わる書類は全て鍵のかかる書庫で厳重に管理している。
	③⑲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者とその都度連絡を取って子どもの障害に合わせて意思疎通を図っている。また、精神的負担を抱えている保護者もいるため、思いを受け止めつつアドバイス等が行えるよう気を付けている。
	④⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ感染防止の為実施していない。
	非常時等の対応	④⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
④⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言到練を行っている		○			実施を予定している。
④⑳ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○			契約時に、保護者に利用者票などを記入してもらい情報共有している。

④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書に基づき対応している。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットファイルに文面を作成し、共有している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修会に参加し、他の職員に伝達している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			該当する児童はいないが、今後に向けて整備していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 29 日

事業所名 ほっと

保護者等数(児童数 1名)

回答数

1枚

割合

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○					
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか				○	そこまで考えていない。 把握するつもりはない。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		幼稚園との併用なので そこまでの支援を求めている。	
保護者への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	○					
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか			○			
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○					

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○				この支援を求めている	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○					
	⑱	定期的に、会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な言川練が行われているか、	○					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○				兄と一緒に喜んで利用している。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和4年2月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員、スペースの関係は適切である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準を満たしている配置数である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化し、手すりなどの設置を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングを行い支援等について話し合いを行っている。 随時、職員間で振り返りや情報共有を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートから出た保護者の意向・意見を集計し、改善に向けて現在動いている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページを開設している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は行っていない。 今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修に参加し、勉強の機会を確保していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			送迎時、電話などで保護者と直接利用者の現状や保護者のニーズを確認し、課題の整理を行い、支援計画の作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全員で考えて行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や児童からの意見を聞き、活動内容を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			細やかに設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子供の状況に応じて見直しを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援に入る職員で一日の流れや個別活動について打ち合わせを行い、情報共有をして支援している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点はノートに記録し、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を取り、検証・改善につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			個々の状態に合わせて、複数組み合わせ合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童相談支援事業所と定期的にモニタリングを行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	今のところ受け入れがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	ご利用様は、放課後児童クラブや児童館等をほっとと併用にご利用されている方もいるので、ほっとでの交流の機会を今後考えてみたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	検討している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や日々の連絡帳などで伝え合っている。また、定期的なモニタリングの機会を活用している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	研修などで学び、今後も行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談に随時対応し、助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会を開催していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情は今のところありませんが、あった場合は対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			『ほっとだより』を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関わる書類は全て鍵のかかる書庫で厳重に管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの障害に合わせて意思疎通を図っている。 保護者ともその都度連絡を取っている。 また、精神的負担を抱えている保護者もいるため、思いを受け止めつつアドバイス等が行えるよう気を付けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ感染防止の為、実施していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、保護者に配布中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会に参加し、他の職員に伝達している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当する児童はいないが、今後に向けて整備していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在該当する児童はいないが、保護者を通じ医師からの指示に基づき対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットファイルに文面を作成し、共有している。